

平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第 4 報）

平成 17 年 5 月 20 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数は横這い。」

1 ラーバの出現状況

5月20日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200 μm 未満が 1 個/トン、200 μm 以上が 1 個/トンと、前回調査時（合計 30 個/トン）より減少しています。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 8.6 と、前回調査時より 0.2 低下し、平成 9 ~ 16 年の平均値より約 1 低めの値となっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月12日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。各調査点の付着数は 1 ~ 45 個/袋でした。

宮古地区の白浜を除く各定点で付着稚貝数は横這いしないしは減少しています。特に、大船渡地区南部の付着数は 7 個/袋と、依然として少ない状況です。

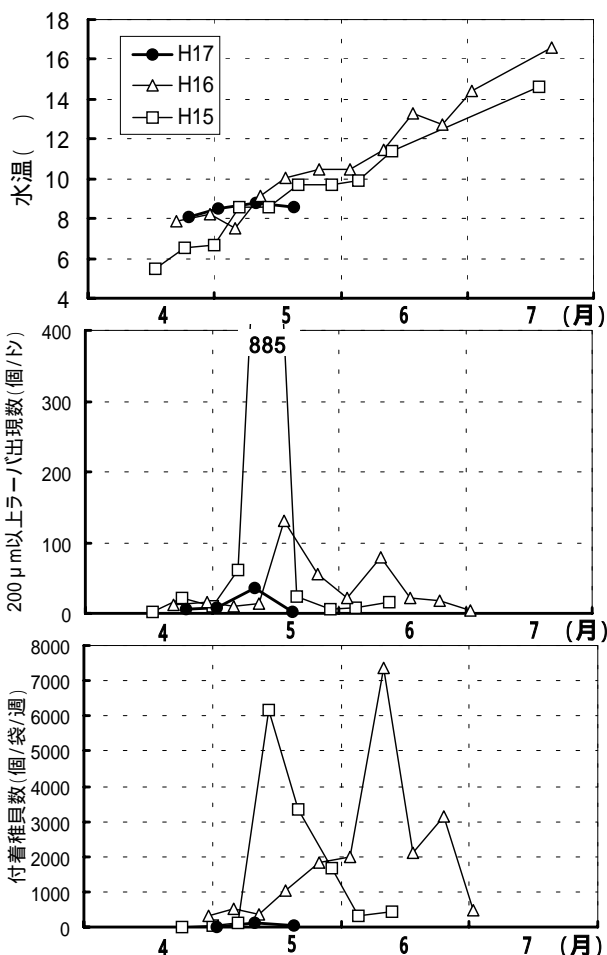


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 1 割が付着直後の個体でした。

ほとんどの定点で、付着稚貝は横這いしないしは減少しています。また、昨年比べてラーバの出現数、付着稚貝数とも少ない状況です。

今後の調査結果に十分に注意し、採苗器を投入する場合には、数回に分けた分散投入の実施を心がけてください。



図 調査点と付着稚貝調査結果

次報は、5月27日頃発行する予定です。